

—PIANO RECITAL SERIES—

若きピアニストとの 出逢い

クラシック界で一目置かれる実力派若手ピアニスト達による演奏を、
身近に味わう事のできる贅沢なピアノ・リサイタル・シリーズ。
作曲家に対する想いや思考、作品へのアプローチ方法の違いなど、
異なる個性を楽しんでいただき、クラシックピアノが持つ
無限の可能性を感じていただければ幸いです。
輝きを放つ未来のヴィルトゥオーゾたち、彼らとの出逢いに
どうぞご期待ください。

チケット 各公演とも(全席指定) 2,500円 | 2023年3月4日(土) 10:00発売

ご予約・お問合せ

厚木市文化会館チケット予約センター

TEL 046-224-9999

(10:00 ~ 17:00) ※休館日を除く

WEB <https://p-ticket.jp/atsugi-bunka> (24時間)

*発売初日は電話・ウェブ予約のみ。1人6枚まで。

*窓口での販売(残席がある場合)は3/5(日)9:00から

ウェブ予約はこちらから



厚木市文化会館
ホームページ



twitter



facebook



厚木市文化会館
ACCESS

小田急小田原線
本厚木駅 北口より徒歩13分

〒243-0032

神奈川県厚木市扇名1-9-20

TEL:046-225-2588

FAX:046-223-1439

URL:<https://atsugi-bunka.jp/>



—PIANO RECITAL SERIES—

若きピアニストとの 出逢い



Vol.1

2023. 4.19 WED

Daisuke YAGI

八木大輔



Vol.2

2023. 5.31 WED

Jun-ichi ITO

伊藤順一



Vol.3

2023. 6.21 WED

Kazuya SAITO

齊藤一也

小ホール

主催:公益財団法人 厚木市文化振興財団

〒243-0032 神奈川県厚木市扇名1-9-20 TEL:046-225-2588 FAX:046-223-1439

<協力>:アールアンフィニ、(株)ミュージックエンターテインメント

Vol.1

2023. 4.19 WED

開場 18:30 開演 19:00

八木大輔 Daisuke YAGI

華麗なるスーパーテクニックと、
虚飾を排した美意識の昇華。

<曲目>

メシアン: 幼子イエスに注ぐ20のまなざし〜第10番 喜びの聖霊のまなざし

J.S.バッハ: トッカータ ハ短調 BWV911

R.シューマン: トッカータ ハ長調 Op.7

ショパン: バラード 第4番 ヘ短調 作品52

モーツァルト: ピアノ・ソナタ 第8番 イ短調 K.310

リスト: ドン・ジョバンニの回想 S.418/R.228

※プログラムは変更になる場合がございます。



みなさま、こんにちは。ピアニストの八木大輔です。

僕はとなりの伊勢原市で生まれ、小田急線をみながら保育園に通っていました。ここ厚木市文化会館へは15年ぶりですが今回は観客、今回は演奏家として来ることができ、とても嬉しく思っています。

僕は現在音大ではなく一般大学の文学部に通っています。昨年は数学や歴史などに加えて独語や仏語、伊語といった一般教養を学びました。これが僕のピアノ演奏に、直接的にも間接的にもさまざまなアイデアをもたらし、自分の演奏が大きく変化したと実感しています。

また最近演奏しやすくなったこともあり、現地で積極的に専門的なピアノの演奏も学んで参りました。

今回のコンサートでは、そのようにして様々な角度から精一杯取り組んできた、バッハからメシアンまでの作品をみなさまにお楽しみいただけたらと思います。

八木大輔

PROFILE

2003年神奈川県生まれ。4歳より藤井麻衣子、6歳より石井理恵の両氏に手ほどきを受け、現在黒田亜樹、藤井一興、フィンツェンツォ・バルツァーニの各氏に師事。またタチアナ・ゼリクマン、ドミトリー・バシキエフの各氏にも指導を受ける。2017年5月、第7回ピアノタレント国際コンクールにて大賞および聴衆賞受賞。同年10月第30回ポツォーリ国際ピアノコンクールにおいて第3位、13歳で史上最年少入賞を果たす。2018年3月第4回スタインウェイコンクールin Japanにて大賞および聴衆賞受賞。同年5月テック・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール古典部門で第1位(最年少受賞)、併せてベートーヴェン賞受賞。2019年6月、アンドレア・バルティ国際ピアノコンクールにて史上最年少で第1位受賞。同年11月スポレート国際ピアノコンクールにて史上最年少で第1位受賞。2021年9月モツァルテ国際ピアノコンクール最上位(1位無し第2位)入賞。シャネル・ビグマリオン・テイズ・2020-2022参加アーティスト。慶應義塾大学文学部在学中。

Vol.2

2023. 5.31 WED

開場 18:30 開演 19:00

伊藤 順一 Jun-ichi ITO

フランスの3大音楽学校である
パリ国立高等音楽院、リヨン国
立高等音楽院、パリ・エコー
ル・ノルマル音楽院で極めた、
薫り立つフランス・エスプリ。

<曲目>

ショパン: ワルツ 第1番 変ホ長調「華麗なる大円舞曲」Op.18

ショパン: 舟歌 嬰へ長調 Op.60

ショパン: マズルカ Op.24

ショパン: バラード 第1番 ト短調 Op.23

ラヴェル: クープランの墓

※プログラムは変更になる場合がございます。



この度は、厚木市にて演奏出来ることを大変嬉しく思っております。

今回のプログラムは、デビューアルバム「プロフォンド」にも収録させて頂いたショパンの作品とフランスの作品を選んでみました。前半にお聴きいただくショパンからは「ワルツ第1番」。生涯で19曲作られたワルツの第1作目で、ファンファーレの後に華やかなメロディーが続きます。そして、ベネツィアのゴンドラのイメージを彷彿とさせる伸びやかなメロディーと輝く響きの「舟歌」、ショパンの真髄である「マズルカ」、悲劇的な物語に深い想いを感じる「バラード1番」を。後半はフランスのラヴェルから、亡き友人を偲んで書かれた6曲からなる大作「クープランの墓」をお届けします。ラヴェル自身の最後のピアノ曲となりました。

私の特徴である、カンタービレ(歌う)と、ソット・ヴォーチェ(究極の弱音)が皆さまの心に深く刻まれる…そんなひと時を堪能して頂きたい、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

伊藤 順一

PROFILE

4歳よりヤマハにてピアノを始め、東京藝術大学附属高校、同大学にて奏はるひ氏に師事し、在学中2011年に渡仏しパリ・エコールノルマル音楽院へ留学。アンリ・バルダ氏のもとコンサートディプロムをピアノ、室内楽共に首席で修了。その後パリ国立音楽院、リヨン国立音楽院でエルベ・エヌカウア、ティエリー・ロシュバック両氏に師事し研鑽を積み、2016年よりシャトゥ、ステファノ・マリツァ、ニースなどの各国際コンクールで第1位を受賞。その他イタリア、スペイン、クロアチアなどヨーロッパ各地のコンクールに入賞し、バカウフィルハーモニーやオーケストラサウンド、クロアチア放送交響楽団と共演。帰国後、日本ショパン協会主催 第4回日本ショパンピアノコンクール第1位。また、毎年ショパン作品に優れた演奏を示したピアニストに贈られる「2020年度 第47回日本ショパン協会賞」を受賞。2021年12月、アールアンフィニよりデビューアルバム「プロフォンド」をリリースし、「レコード芸術」特選盤に選出。また以前よりコンサートを定期的に主宰し、多くのアーティストの共演者としても活躍。

Vol.3

2023. 6.21 WED

開場 18:30 開演 19:00

齊藤 一也 Kazuya SAITO

煌めく超絶技巧が織りなす、
濃密な官能とパッション。

<曲目>

J.S.バッハ: コラール前奏曲「われ汝に呼ばれる、主イエス・キリストよ」BWV.639

リスト: J.S.バッハのカンタータ「泣き、嘆き、憂い、おののき」とロ短調のミサ曲「十字架につけられ」の通奏低音による変奏曲 S.180/R.24

リスト: 巡礼の年 第2年 イタリア S.161/R.10b より
第1曲 婚礼 / 第7曲 ソナタ風幻想曲「ダンテを読んで」

ショパン: 前奏曲 嬰ハ短調 Op.45

ショパン: スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op.39

ラフマニノフ: 幻想的小品集より 第2曲 前奏曲 嬰ハ短調「鐘」Op.3-2

ラフマニノフ: 10の前奏曲 Op.23より
第2番 変ロ長調 / 第3番 ニ短調 / 第4番 ニ長調

ラフマニノフ: コレルリの主題による変奏曲 Op.42

※プログラムは変更になる場合がございます。



ピアニストの齊藤一也です。

この度、厚木市文化会館でリサイタルを開催させて頂くことを心から光栄に思います。

今回のプログラムは、昨年リリースしました私のニューアルバム「ザ・パッション」に収録されているリストとラフマニノフの楽曲を中心とした情熱的かつ、それに伴う「受難」をテーマに選曲させていただきました。今も昔も、世界では様々な悲惨な歴史が繰り返されてきました。先人たちがその耐え難い現状を目の当たりにし、一つひとつの音符にかけがえのない想いや深い情感を込めて作った名作の数々。

私は全身全霊でその精神を感じとり、今の時代にも重ねながら、会場の皆様にも感動的なドラマを描きたいと思うばかりです。実際にどのような「パッション」が展開できるか、とても楽しみです!

齊藤 一也

PROFILE

山梨県出身。東京藝大附属高、同大学卒業後、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学を最優秀で卒業。東京音楽コンクール最上位、日本音楽コンクール第2位及び三宅賞・岩谷賞。第9回カンピョス、第7回マッサローザ国際ピアノコンクール優勝。第66回ロンドン・ティボ、第18回サンタンアル国際ピアノコンクールファイナリストなど国内外のコンクールにて入賞を果たす。2021年1stアルバム「ユヌ・ジュルネ」をリリース。ポーナストラックの自作曲「ショパンの小さなワルツによる即興曲-ネコ好きのための-」はミュージックプレスより楽譜が出版される。2022年2ndアルバム「ザ・パッション」がリリースされ、レコード芸術誌2022年12号にて特選盤に選出された。(一財)地域創造による公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)アーティストとして、全国で活動を展開中。